

国際協力委員会

<p>1, 2 月</p>	<p>部会開催：2月26日（月）</p> <p>議題：</p> <p>1) 各国法規制のリンクの有効性調査：結果と今後の進め方 各国報告書に記載されたリンク先の有効性について昨年、委員で手分けして調査した結果を基に、今後どうするかを検討した。</p> <p>【現状】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●データベースの見目は美しいが、情報が更新されていないため具体的な事業に係わる判断には使えないのが現状。 ●事務局に外部から問い合わせがある際は、過去の調査時点での情報であり更新はしていないと回答している。 ●委員より、PDF に埋め込まれたリンクを探し出しリンク先の有無を容易に確認できるフリーのプログラムがある、という情報提供があった。 <p>【課題・問題点】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●フリープログラムで調査が可能なのは、リンク先の有無までである。リンク先があったとしても、①リンク先に直接目当ての情報がある場合、②リンク先からどこか別の箇所に目当ての情報がある場合の2つがあり、いずれにしても精査が必要となる。 ●委員で長時間かけてリンクを確認しても、目的とする情報にたどり着くかどうかはわからない。 ●本当に情報が有効利用できるようにするための更新作業には専任が必要と思われるが、外注等のための予算は無い。 <p>【結論】</p> <p>上記を鑑み、しばらくの間、本件に関する検討は凍結する。</p> <p>2) BeSeTo 会議で共有したい（してもらいたい）テーマについて： 今年の BeSeTo 会議は、台湾がホスト国となり 9 月に開催される予定である。1 月の ILSI 本部総会の場で各支部より紹介された各支部の活動内容をレビューしながら、新提案の「共有したいテーマ」の候補を議論し、大きく 4 つ候補を挙げた。この中から 3 月中に 1 つか 2 つに絞り込むべく、委員内でメール等を利用して議論していく予定である。 従来から継続しているトピック「法規関連の動向」に関しても、日本からの候補をいくつか挙げた。</p>
<p>3, 4 月</p>	<p>部会開催：3月2日（金）—4月5日（木）随時</p> <p>【議題①】</p> <p>2018 年の BeSeTo 会議（ホスト国：台湾）に先立ち開催されるサテライトシンポジウムの話題候補</p> <p>【議題②】</p> <p>同 BeSeTo 会議において、昨年の BeSeTo 会議で提案した「新たな枠組み」として「参加支部間で共有したい話題」の候補 全員で集っての会議は実施せずに、上記 2 つの議題に関し委員間で</p>

	<p>メールでの意見募集と議論を行い、それぞれ日本としての意見をまとめて事務局より ILSI 台湾に連絡した。</p> <p>【日本の意見提出】</p> <p>議題①に関しては、3月26日（月）に意見が集約された以下3案を提出</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) Dietary Intakes Survey or Food Composition Database (摂取量 (暴露量) 評価や食品成分データベース) 2) Reduction of salts/sugars intake strategy/campaign, with reference to WHO Recommendations (There are many traditional foods containing much salt in Asia. It might be better to discuss the issue considering potassium salt as well.) (糖類や塩分摂取の削減に関する WHO の勧告に基づく各国での戦略やキャンペーン活動) 3) Front of Package – practice in Asian countries (FOP : 製品に含まれる栄養素に関してパッケージ正面に表示される様々な記号の取組のアジア諸国の実践例) <p>議題②に関しては、候補を1つに絞り4月5日（木）に以下を提出</p> <p>“Issues and policies on nutrition of each country” (栄養に関する各国の課題と政策)</p> <p>【ホスト国よりのフィードバックおよび日本の対応】</p> <p>議題①のサテライトシンポジウムの話題は、以下に決定。</p> <p>"The practical implementation of food microbiological criteria by regulatory authorities with focus on the sampling plan and risk management."</p> <p>これを受けて、日本で事務局を中心に演者の選定を開始。</p> <p>議題②に関しては、「新たな枠組み」は取り入れない旨通知があった。これを受けて、日本からは、参加支部が増えたことと時間的制約を鑑み了承した旨を返信した。</p> <p>【今後の予定】</p> <p>サテライトシンポジウムの演者の選定を進めることと、BeSeTo 会議での今年の日本からの発表内容およびプレゼンターの選定を行う。</p>
5, 6 月	
7, 8 月	
9, 10 月	
11, 12 月	